

2024年3月22日（金）

ウクライナ避難民支援連携フォーラム

—避難の長期化とこれからの生活—

公益財団法人日本YMCA同盟
横山 由利亞

戸別訪問・支援策マッチングの様子



みつかる。つながる。よくなっていく。



支援策マッチング案件

マッチング内容	件数
物資	134
日本語	152
就業	131
手続き	174
財政	62
教育	106
医療・メンタル	111
生活・やりがい	71
その他	76
合計	1,017

2年目の様子



みつかる。つながる。よくなっていく。



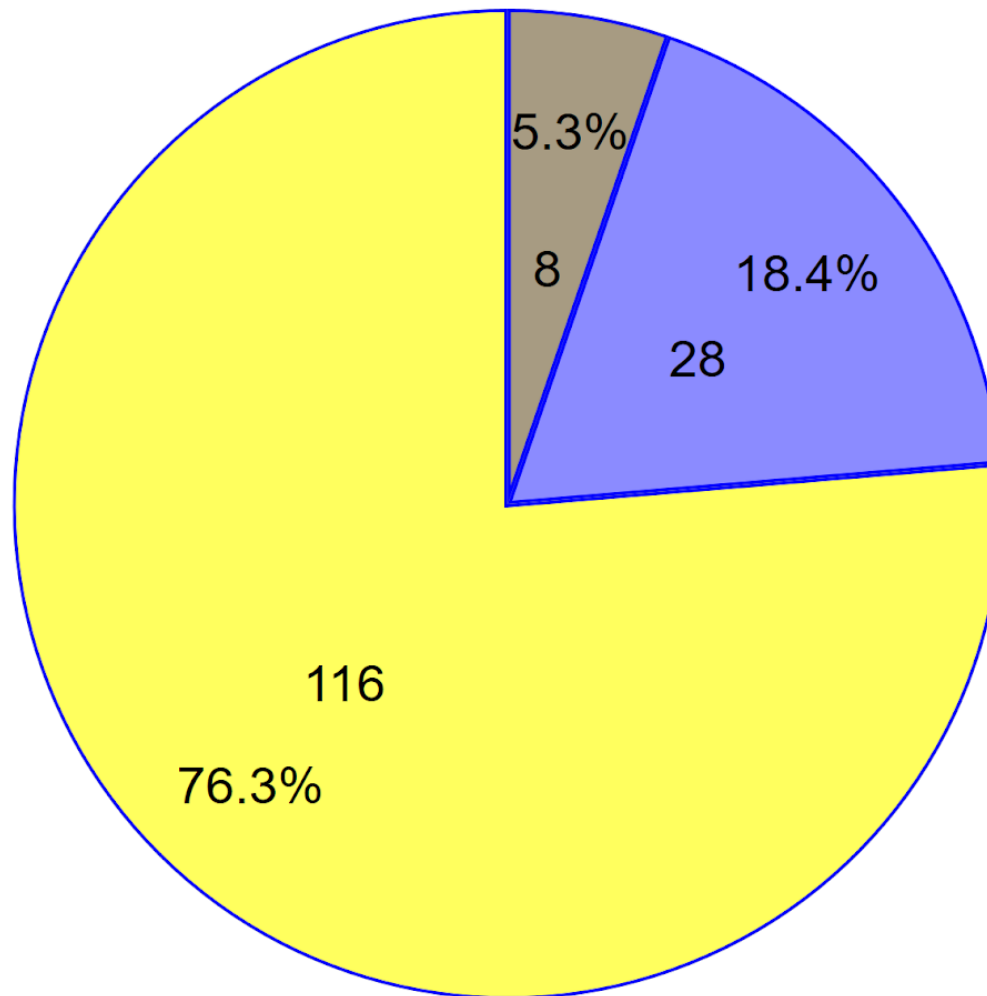
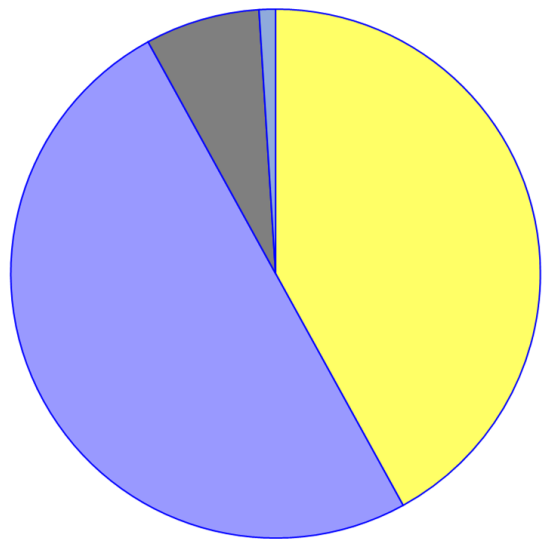
2024年1月実施の避難者アンケート結果より



みつかる。つながる。よくなっていく。

Q. 日本での生活についてあなたはどう感じていますか？

【昨年度結果】



- 余り満足していない
- 少し満足している
- とても満足している

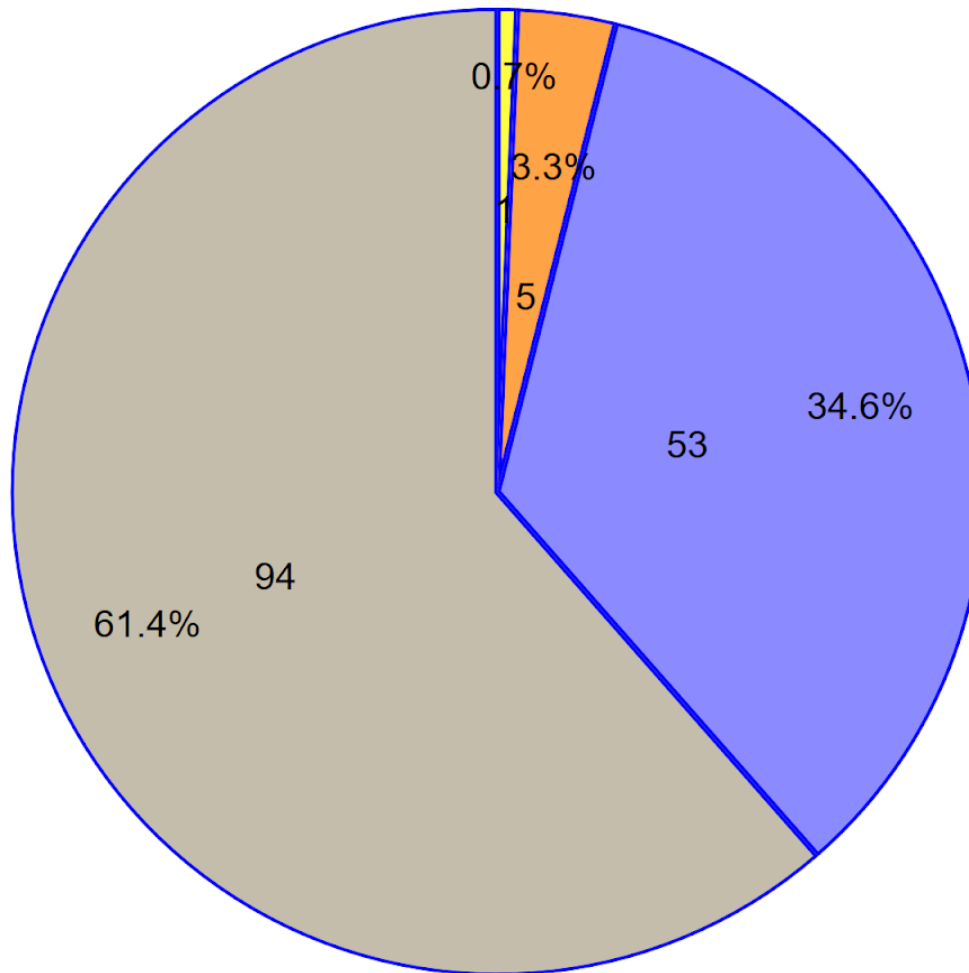
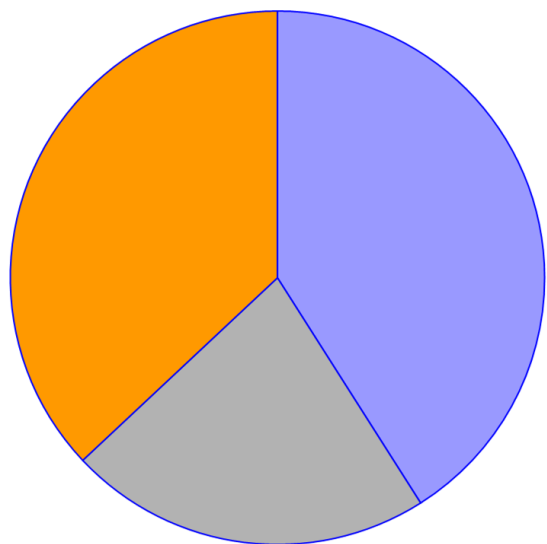
2024年1月実施の避難者アンケート結果より



みつかる。つながる。よくなっていく。

Q.現在、自分の将来にどの程度不安を感じていますか？

【昨年度結果】



- 全く不安ではない
- 余り不安ではない
- 少し不安
- とても不安

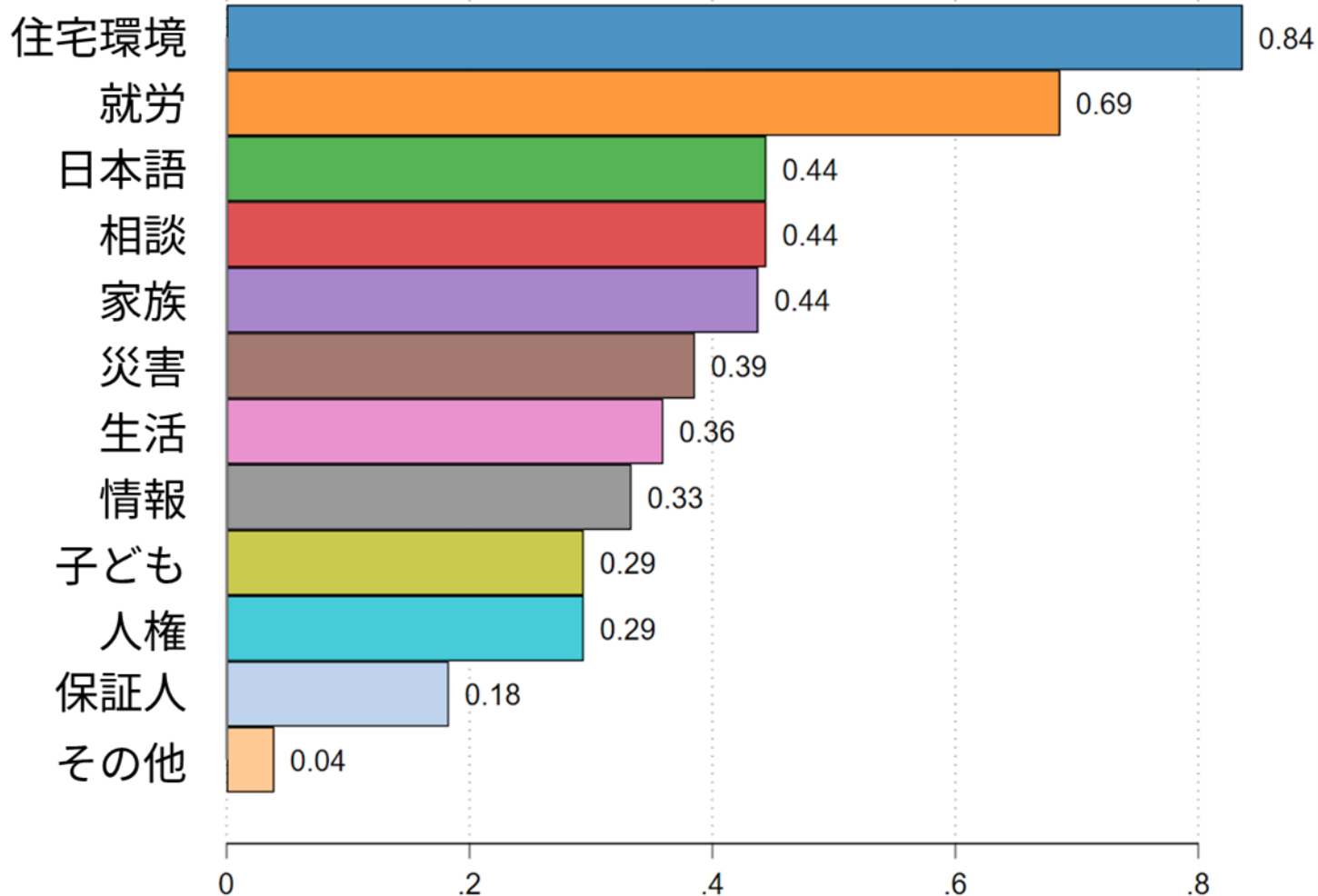
2024年1月実施の避難者アンケート結果より



みつかる。つながる。よくなっていく。

Q. 特に不安な事は何ですか？

(複数回答可)



(3択)

最も不安な事 TOP3		
1	民間住宅に移って家賃を払えるか？	116人 (75%)
2	仕事について安定した収入が得られるか？	102人 (66%)
3	ウクライナの家族とのコミュニケーションはとれるか？	41人 (26%)

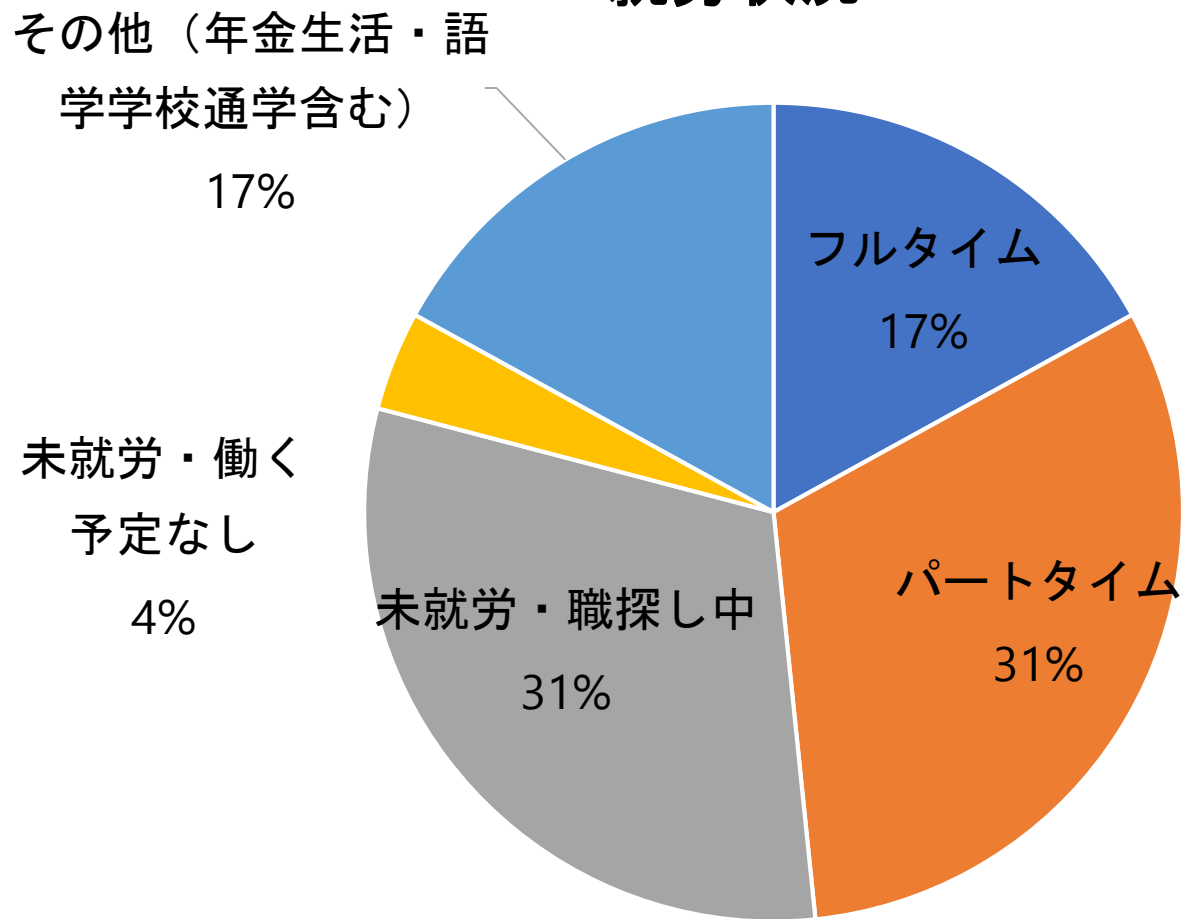
2024年1月実施の避難者アンケート結果より



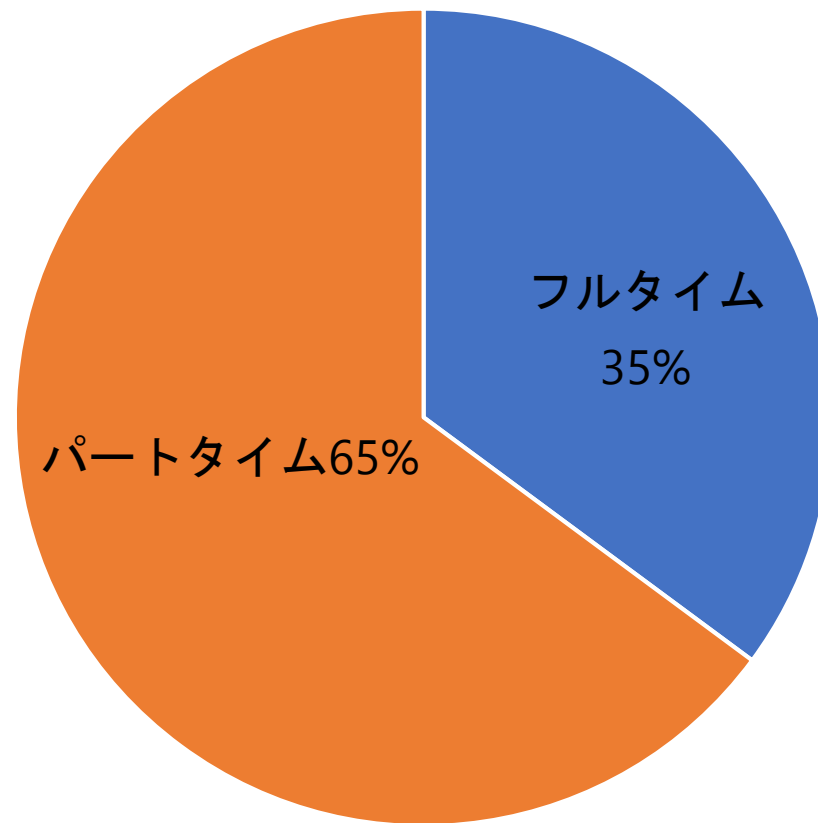
みつかる。つながる。よくなっていく。

Q. 現在の就労状況を教えてください

就労状況



働き方



就業による避難民への効果



みつかる。つながる。よくなっていく。



友達が
できる・
つながる

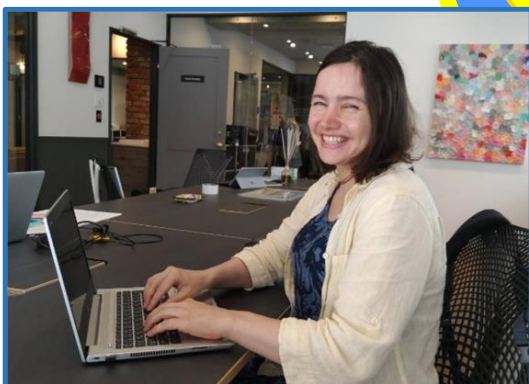


生活が
充実



生きがい

精神面が
改善



居場所が
できる



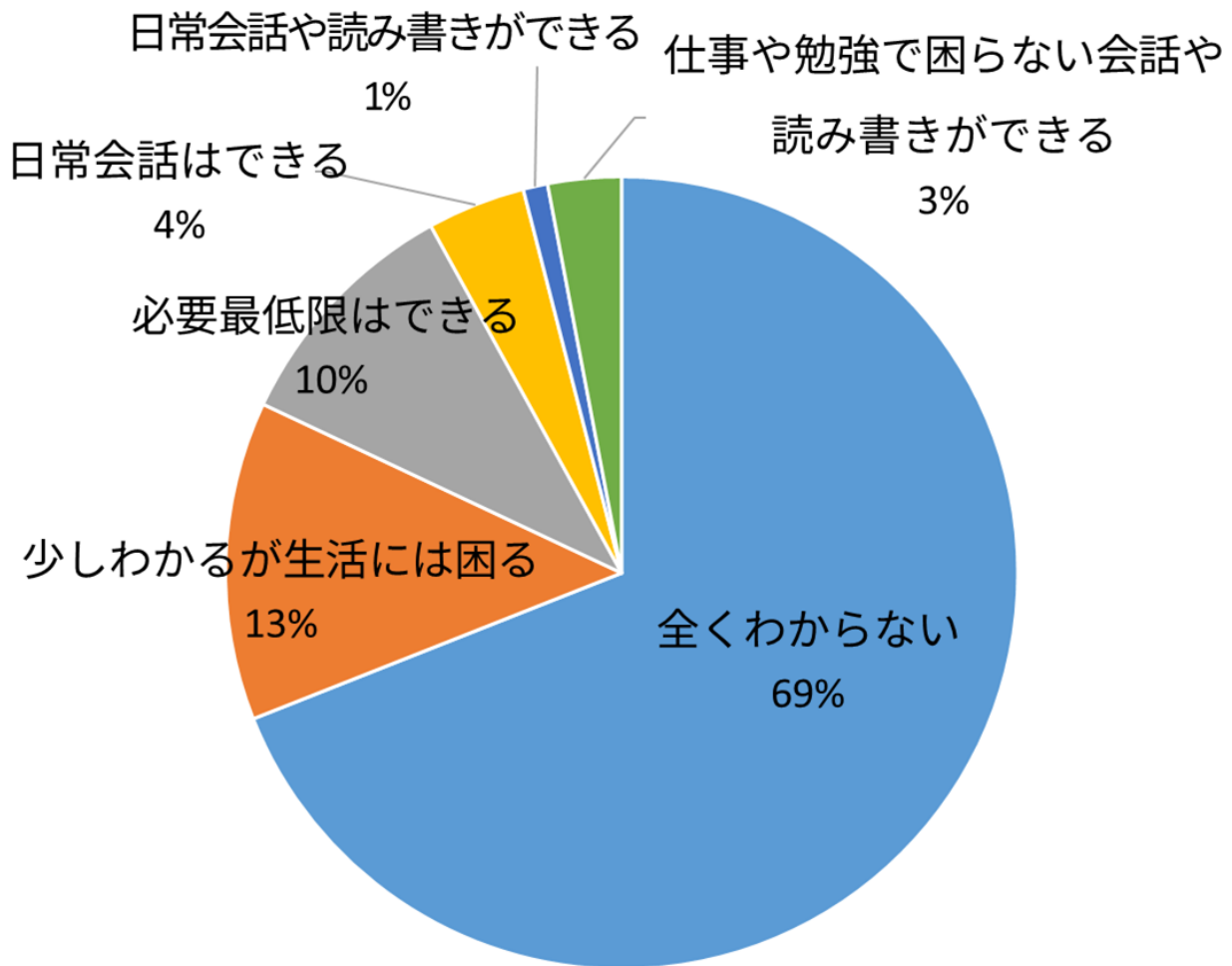
2024年1月実施の避難者アンケート結果より



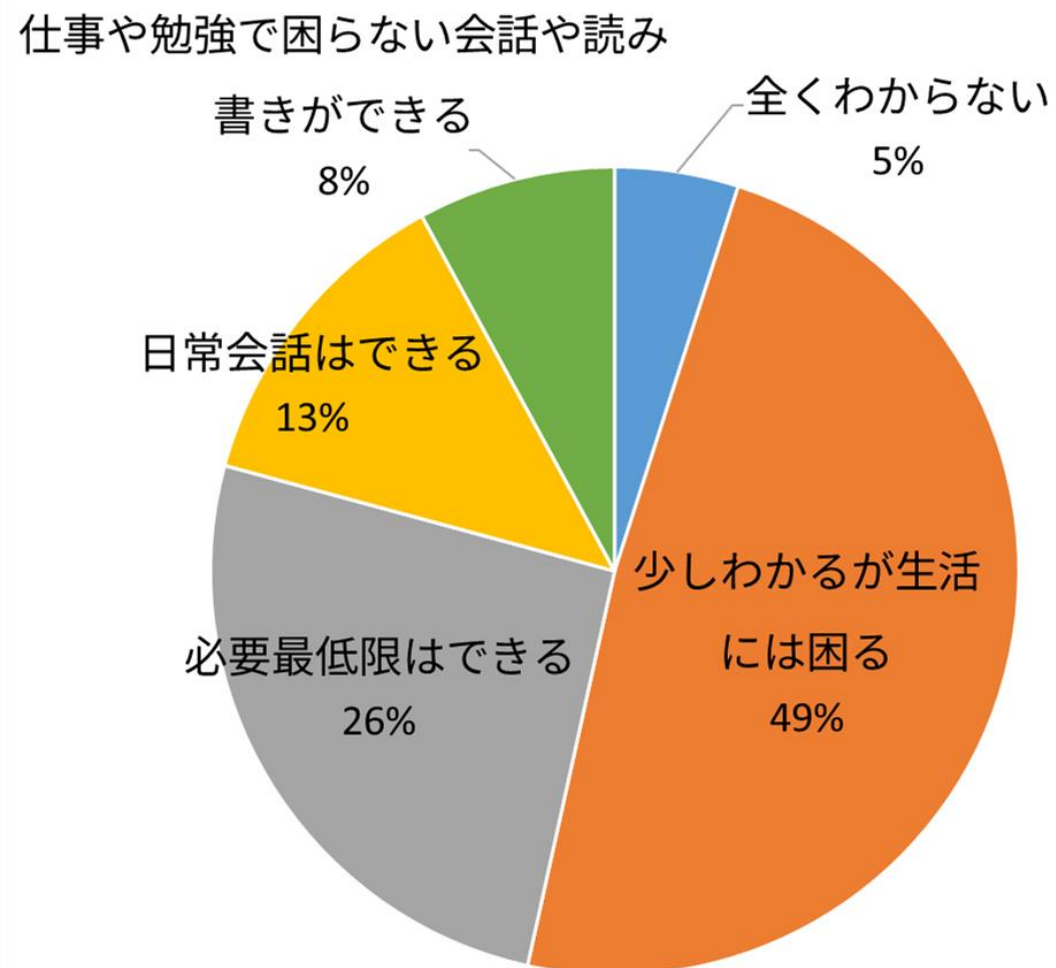
みつかる。つながる。よくなっていく。

Q.日本語レベルを教えてください

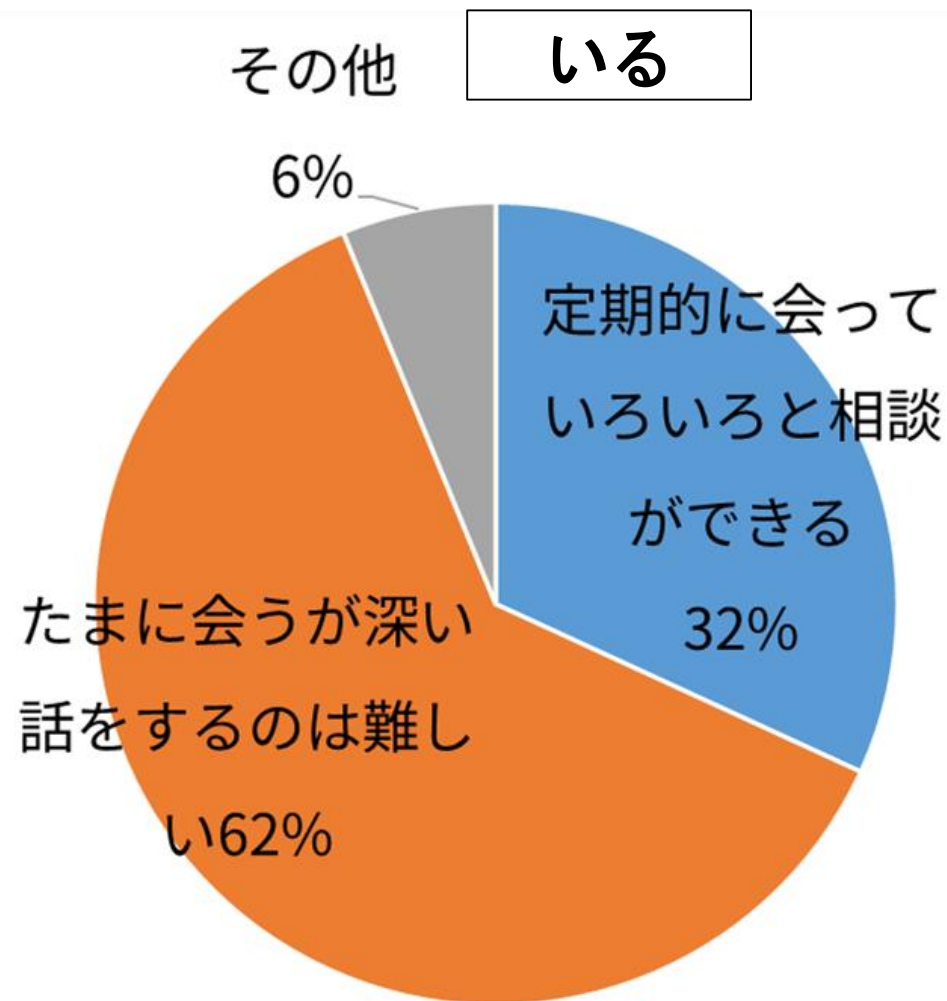
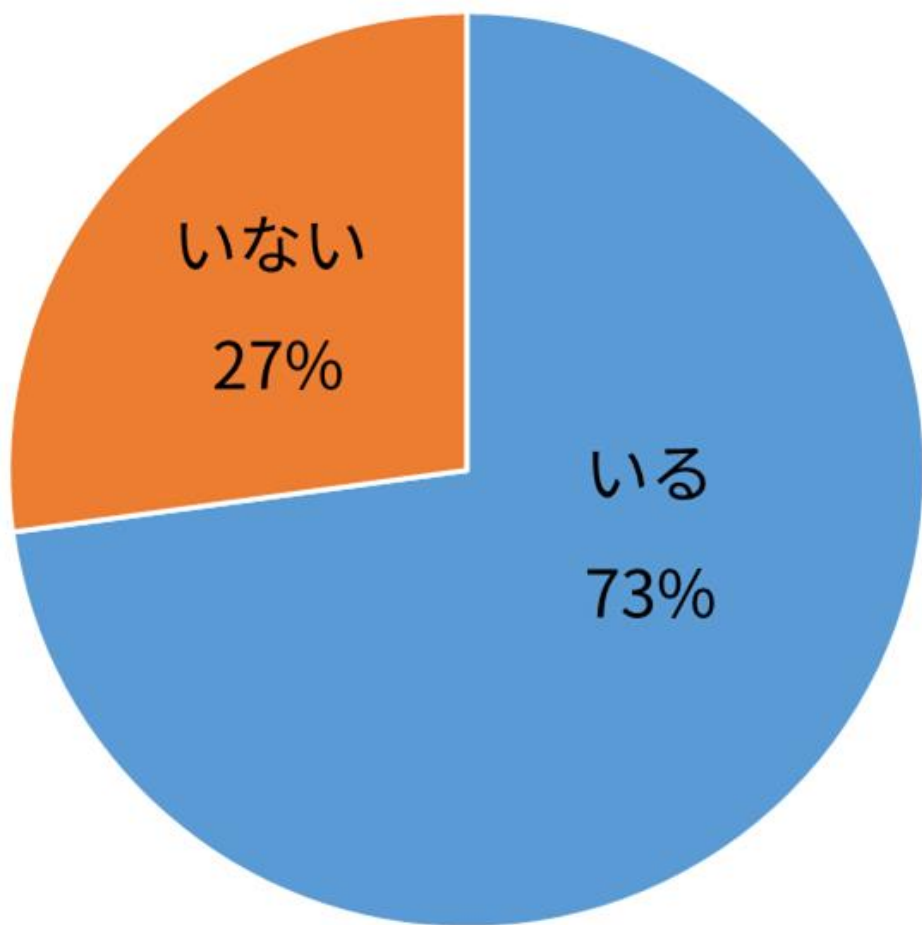
【来日前】



【来日後】

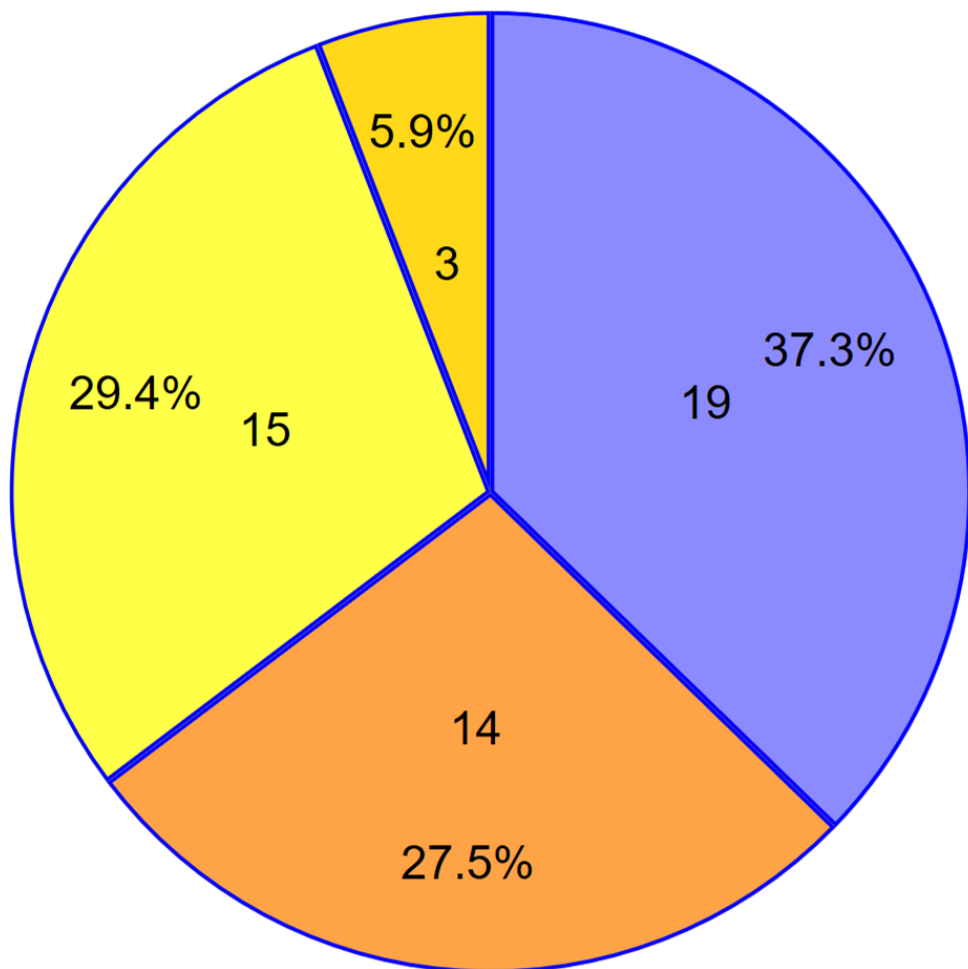


Q.日本人の友人や知り合いはいますか？



Q.日本人の友人や知り合いはいますか？

いない



日本の知り合いや友人がいないのはなぜですか？

- 日本人の友人は欲しいがどこで作るかわからない
- 日本人の友人おらず寂しい
- ウクライナ避難民の友人がいるから寂しくない
- その他（語学勉強中など）

2024年1月実施の避難者アンケート結果より



みつかる。つながる。よくなっていく。

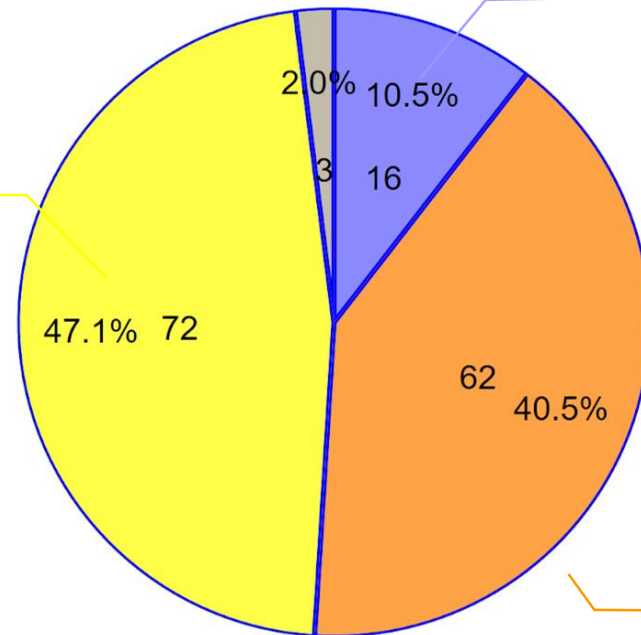
Q.戦争が終了（停戦・休戦）した場合、

どのような選択を希望しますか？

日本に残り定住を試みる

- 勉強中の日本語を活かして日本社会で役立てたい。
- 日本は安全で平和。文化や、親切で誠実な人についてもっと知りたい。
- ウクライナに戻っても以前のように幸せになると思わない。
- ウクライナの経済状態、政治状況など不安が多い。
- 子どもが日本語のほうを理解しやすくなっている。

など



速やかに帰国する

- 夫や離れた家族と再会したい。
 - 高齢の両親、介護が必要な兄弟がいる。
 - 自分の本来のキャリアを活かしたい。
- など

しばらくの間状況を見る

- ロシアがどのような形であれ、ウクライナへの暴力的な攻撃、砲撃、弾道ミサイル、無人機、ドローン等を使って脅威を与えるリスクがある、不信、危険リスクが高い。

など

今後に向けて

- 将来への不安を軽減するために情報を予測可能なように透明性をもって伝えてゆく（支援縮小などのマイナスな見込みの情報を含めて伝えてゆく方が将来の見通しが立てやすい）
- 日本語学習上達の機会をより提供することは日本での満足度を高めるために重要
- さまざまな知識を日本で得られるような人は、日本での生活に満足している
- 不安を軽くするために、安定した就労（フルタイムの仕事）は重要
- 日本の友人や知り合いがいることは不安を有意に減らすので、つながりの形成が大切

